

第 38 回 北海道 TDM 研究会 研究発表会

2024 年 12 月 22 日（日） 14:00～16:00

オンライン開催（Zoom）

主催 北海道 TDM 研究会

共催 北海道病院薬剤師会

札幌病院薬剤師会

日本薬学会北海道支部

《プログラム》

1. 会長挨拶 14:00～14:05

北海道 TDM 研究会 会長 戸田貴大 (北海道科学大学薬学部)

2. 一般演題 14:05～14:50

座長 新沼 悠介 (北海道大学病院薬剤部)

演題 1 BCR-ABL TKI に関する基礎研究

¹⁾北海道科学大学薬学部

○青山剛¹⁾

演題 2 簡易懸濁法でドラビリンとドルテグラビルを投与後に血漿中薬物濃度を測定した一例

¹⁾北海道大学病院 薬剤部

²⁾北海道大学病院 HIV 診療支援センター

³⁾北海道大学病院 血液内科

⁴⁾北海道大学大学院薬学研究院

○田澤 佑基^{1,2)}、松川 敏大^{2,3)}、新井 崇之^{1,2)}、遠藤 知之^{2,3)}、武隈 洋¹⁾、菅原 満^{1,4)}

演題 3 24 時間蓄尿法を用いてバンコマイシンの血中濃度を適切にコントロールできた重症症例

¹⁾札幌医科大学附属病院薬剤部

○伊部裕太¹⁾

3. 特別講演 15:00～16:00

座長 戸田貴大

『反応性代謝物と特異体質性薬物副反応の関連性

—発症機構の解明と TDM による予測予防の可能性—』

大阪医科薬科大学薬学部

教授 加藤 隆児 先生

4. 閉会の辞

北海道 TDM 研究会 副会長 門村 将太 (JCHO 北海道病院薬剤部)